

USB-101 試聴記 (5)
—Vista 機と XP 機の比較—

これまでも、自宅や JJ 工場の試聴で PC の機種を替えてみたことがあり、若干機種間で違いがある印象を受けていました。自宅ではこれまでにオーディオ仲間ご持参の Dell、西野さんご持参の VAIO、自身の Toshiba の XP 機を使いました。きちんと比較していませんが、自宅の XP 機 (下記 Toshiba G8) がもっとも音質が劣り、Dell がもっとも音が良いような気がしていました。また、西野さんの報告でも Dell と VAIO で違いがあるとのことでした。機種間によるどれほどの音の違いがあるか、じっくりと聴いてみることにしました。使用した機種は、すべて東芝の Dynabook ですが、仕様は下記のもので、このうち、②と③はともに 5 年前の機種で、ファン、HD の動作音ともかなりうるさいものですが、①は本当に静かです。どのくらい違うかということ、50cm 離れた①が 5m 離れた②、③と同じくらいか、より静かくらいです。なお、①と②の CPU はともに 2GHz と速いのですが、①は Core 2 Duo、②は Intel 4 と異なっています。③は Intel Celeron です。

それぞれの機種と Window、CPU 速度、Memory 容量、HDD 容量を示します。

- ① Toshiba Dynabook TX/66GS
Vista(SP1) 2.26GHz 2GB 320GB
- ② Toshiba Dynabook G8/X20PDEW2
XP(SP2) 2.0GHz 1GB (増設) 60GB
- ③ Toshiba Dynabook C7/212CMEN
XP(SP2) 1.2GHz 240MB 40GB

プレイバックソフトは、Lilith を使用し、下記を USB 固体メモリーから読み出します。

- ① Gabrieli Consort & Players のヘンデルのメサイア
- ② イ・ムジチのロッシーニ：弦楽のためのソナタ

以上の 3 機種のうち、②と③は良く似ていますが、どちらかと言えば、③は音全体がソフトです。①は、②、③と異なり、音の透明感、繊細な倍音の乗り具合、空間表現が違ってきます。だからと言って②と③がまったく駄目だというわけではありません。

USB-101 や固体メモリーの効果は明白であり、あくまで相対評価の結果です。このような違いは、CPU の違いなのか、Windows の違いなのか、PC の機種による振動やデジタルノイズの問題なのか分かりません。拙宅にも家内の仕事用の Dell がありますが、CPU は AMD Athlon 64×2 Dual Core Processor 4600+ と書いてあり、1.8GHz です。別室においてあるので音の比較はすぐにはできません。このような情報が出そろってくると、音の良い PC、音の良い CPU というようなことがはっきりしてくるので

しょうか。本来、PC の目的はオーディオ機器ではものではないので、USB-101 が契機になってオーディオ的見地からトランスポートとしての PC を見ていくことが起こるのでしょうか。

①は主として仕事に使い、②あたりをオーディオ専用にしようかと思っておりましたが、困ったことになってしまいました。インフラノイズの USB 固体メモリーが入手でき、XP 機のグレードアップが図られることを願っております。

以上